



# 核抜き条例 つぎつぎ可決

子どもたちに核のゴミのない寿都を！町民の会

事務局 048-0401 寿都郡寿都町字新栄町 101-6

TEL/FAX : 0136-62-3630 kakugomino@gmail.com

<http://kakugomi.no.coocan.jp/>

<https://www.facebook.com/106569234530018/>



No.22 2021 年 4 月 1 日発行

## 【島牧・黒松内で核抜き条例、蘭越は核抜き決議】

昨年 12 月に島牧村で核抜き条例が可決され、その後、周辺町村でも核抜き条例や決議、意見書の可決などが続いています。

島牧村はいちはやく昨年 12 月に核抜き条例を可決しました。漁協組合長の浜野勝男さんが道新のインタビューに答えられているように、福島原発事故時に魚価が落ちた記憶、最終処分場の地下施設が周辺町村にも達するかもしれないという危惧などが背景にありました。

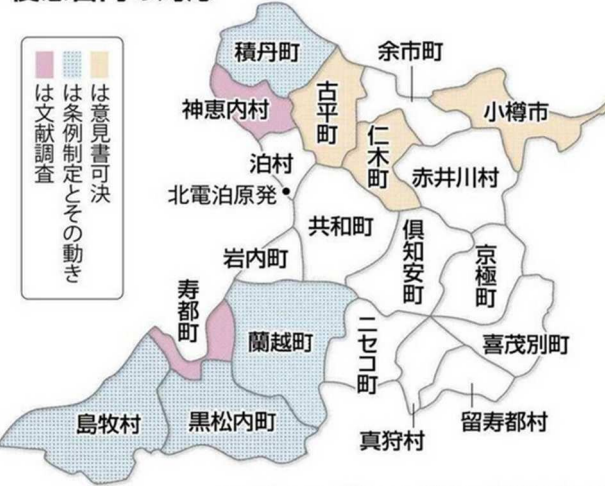
黒松内町では、3 月 16 日に核抜き条例が可決されました。町内から寄せられたパブリックコメント 10 件がいずれも核抜き条例に賛成するものだったことが、その後押しになったということです。

蘭越町では、「いかなる放射性物質も持ち込ませない」という核抜き決議案が 3 月 19 日に可決されました。この決議では、寿都町と神恵内村の調査が次の概要段階に進むことに反対しています。また、核抜き条例を求める住民請願については、特別委員会に付託されました。今夏の議会提出も視野に条例案が本格検討されるということです。

ほかにも、積丹町でも核抜き条例が可決されましたし、古平町や仁木町、小樽市では意見書が可決されています。

自分の町に住む町民の意思も、仲良くやっていかねばならない周辺住民の意思も無視して、肌感覚を根拠に文献調査に突き進んだ片岡町長への怒りが、これらの動きにつながりました。一方で、私たちにとっては、後志各地の核抜き条例や決議は心強い応援となりました。核のゴミのない寿都を目指して、がんばっていきます。ありがとうございます。

### 核のごみ最終処分場選定を巡る 後志管内の対応



※寿都町は昨年12月議会で条例案を否決

2021 年 3 月 19 日北海道新聞より

## 【蘭越町「核のゴミいらない町民の会」の渡辺さんに訊く】

二〇二二年二月十三日追新

### 核抜き条例求め2千筆

蘭越町民団体が署名提出

【蘭越】町民有志でつく「核のゴミいらない町民の会」（下島綾子代表）は、場選定に向けた文献調査の「核のゴミいらない町民の会」の一部分から核抜き条例の署名活動を開始。12日、町議会の開会式で署名提出の動きがある。

蘭越町の核抜き決議可決には、住民の皆さんの大きな力がありました。蘭越町では、「核のゴミいらない町民の会」が立ち上がり、「蘭越町に放射性物質等を持ちこませない条例」（核抜き条例）の制定を求める請願署名を年明けから集めはじめました。2月17日時点で、町民4548人のうち、約半数にあたる2238人が署名しました。

この会の共同代表、渡辺美代子さんに、寿都の文献調査についてどう思われているのか、署名活動をはじめた理由、町内の反応などについて、風太くんがインタビューしました（本インタビューは蘭越町議会の決議以前に行ったものです）。



渡辺さん、はじめまして。オイラは、去年の8月13日に北海道新聞を見て、とんでもないことになったと驚いたんだけど、渡辺さんは、どうやって知りましたか？

はじめまして、風太くん。私は、新聞よりも先にテレビのニュースで知りましたよ。



すぐにテレビで流れたもんね。ニュースを見てどう思われましたか？

ショックでした。隣町の話だからと、済ませられるようなことはありません。蘭越は『蘭越米』で有名なのに、その隣に核のゴミが埋められるかもしれない、放射能が漏れてくるかもしれないなんて。



んだよね。蘭越のお米は美味しくて、オイラも大ファンなんです。でも、実際に行動を起こすのはハードルが高くなかったですか？

いえいえ。もともと、私は福島原発事故に衝撃を受けたことがきっかけで、近所の人と『蘭越原発をもう一度考える会』を結成して活動していたんです。福島の子供たちが毎年、春と夏に保養のために蘭越に来るのを手伝う方も町内にいらっしゃいました。



へえ。蘭越には、もともと原発問題に関心がある方がいたんですね。

ええ。後志には泊原発があるでしょう。だから、蘭越や岩内、共和、ニセコ、倶知安などの人で『後志原発とエネルギーを考える会』という団体を作っていて、そこでも活動していたんですよね。



オイラ、反省だなあ。寿都からは泊原発が見えていて、イヤだなあとは思っていたけど、活動まではしていなかったもんね。じゃあ、核のゴミの問題にも、すぐに反応することができたんですね。

はい。今回の文献調査は、後志全体の問題ですよね。だから、『後志原発とエネルギーを考える会』では、核抜き条例をそれぞれの町で作ろうということになり、ニセコと蘭越と倶知安で共同のチラシを作って、条例案もいっしょに考えて、署名運動に取り組み始めました。







蘭越町民の約半数が署名したと伺って、オイラ、蘭越町民の力に驚いたんだよね。どうやって集めたんですか？

最初に28人の町民に賛同してもらって、署名を集め始めました。集めるうちに、その友達も手伝ってくれるようになったんですよ。



この時期は吹雪く日も多いのに、大変でなかったのかな？

私たちも吹雪の日には休みましたよ（笑）。でも、ちょっと風があるな、すこし雪が降っているな、という日には、みなさんお宅にいらっしゃるんですね。これは冬だからこそその利点だったと思います。留守のお宅にはチラシを入れて、再び伺うようにするなど工夫しました。



署名を集めていて、町民の反応はどうでしたか？

ひとごとでないという人が多かったです。蘭越は、もともと港から発展したこともあって、寿都に親戚がある人や、寿都にルーツがある人が多いんです。子どもさんのサッカーや野球で合同チームも作っているでしょう。寿都の町の中で対立が起きていると聞けば、自分たちの問題であるように考える人も多いです。また、寿都の町長さんについて、『あれはないよねえ』と言う人も多かったですね。



署名提出して手応えはいかがですか？ 条例は成立しそうですか？

去年12月に、核抜き条例の話が出たときには、賛成の議員さんは一部だけでした。でも、今回は、町民の半数が署名をしての請願ですから、議員さんたちも前向きになって検討してくれると思います。成立してほしい、と期待しています。



オイラも期待しています！ 最後に、寿都の町民の会や寿都町民に対して、メッセージをお願いします。

『後志原発とエネルギーを考える会』に、寿都の吉野さんが来てくださったときに、『自分たちの町を守るために核抜き条例が必要です』とおっしゃって、これは切実な問題だ、私たちも頑張らなければと思いました。私は、蘭越に住んでいて、『この町に住んでいて良かった』と思えることがいちばん幸せなんです。寿都の人たちも同じでしょう。そのためには、住民が安心して生きていける町づくりをすることですね。町の将来を左右するようなことがあるかもしれない。そんなときには、町長が勝手に決めるのではなく、町の主役である住民が決めるべきなんです。寿都の人たちを応援しています。



心強いメッセージありがとうございます。オイラたち寿都町民も、蘭越の皆さんに負けないうがんばります！

## 【町長選は 10 月 26 日です】

町長選の日付が決まりました。10 月 26 日です。町民の会では、ただいま候補者の擁立に向けて調整中です。片岡町長の無投票当選を許すつもりはありません。文献調査の撤回を公約とする町長候補をかならず擁立いたします。応援のほど、よろしくお願いいたします。

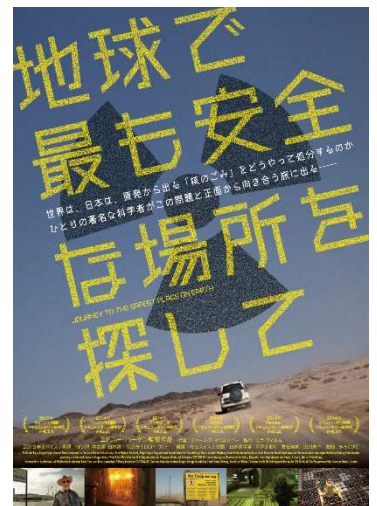
## 【NUMO が寿都にやってきた】

NUMO が「NUMO 寿都交流センター」を開設しました。寿都には、7 人の職員が置かれるそうです。「まずは町民の皆様に顔を覚えてもらいたい」と話しているとのことですが、油断してはいけませんよ！ 日本各地に原発が建っていますが、反対運動のなかったところなんてありません。なのに、どうして原発が 50 もできたのか。電力会社の社員が地元で溶け込み、懐柔を図ったからです。NUMO にはそのノウハウがあります。嫌味を言われることにも慣れていきます。嫌味を言ったところで、言葉尻をとらえて、反論されます。相手にならないようにしましょう。説得のプロたちを甘くみないようにしましょう。

4 月には、「対話の場」が始まります。札幌学院大学の川原茂雄教授は、NUMO の「対話の場」に何度か出席されたことがあるそうで、その実態を教えてくださいました。「彼らはあくまでも最終処分法ができた 2000 年からの話しかしません。それより前の話、たとえば『そもそもの原子力政策がおかしいのでは？』といった質問はスルーします。見事に聞こえないふり、知らんふりです。記録も取らないし、意見もなかったことにされます」。ほとんどの町民は参加できませんが、町から選ばれた皆さん、「対話の場」の実態はこんなものらしいですよ。覚悟して出席してくださいね。

## 【映画「地球で最も安全な場所を探して」上映会】

映画「地球で最も安全な場所を探して」の上映会を行います。いま全国各地の映画館で上映されている話題作です。原発推進論者の核物理学者が、核のゴミを埋めることのできる「地球で最も安全な場所」を探す旅をドキュメンタリーとして描いています。核のゴミ問題にまきこまれてしまった寿都町すべての皆さんに見ていただきたい映画です。配給元の協力で無料で上映いたします。上映前に、小野有五先生のミニ講演会も行います。ぜひお越しください。



日時：4 月 23 日（金）18 時～開場／18 時半～ミニ講演会／19 時～上映  
場所：寿都町総合文化センター（ウィズコム）大ホール  
料金：無料

## 【橋本大二郎さんの講演会を計画中です】

元高知県知事、橋本大二郎さんに寿都に講演に来ていただく計画も進行中です。2007 年の東洋町の文献調査応募のときに知事だった橋本さんは、国に対して異議申し立てを行い、地元の反対運動の皆さんを勇気づけました。寿都の応募についても、国のやり方はおかしいと積極的に発言してくださっています。講演は 6 月を予定しています。詳細が決まり次第、チラシなどでお知らせしていきます。